2016年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL60916B34）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガボン	H108 臨床検査技師		個別	新規	2年	・2017/1・2017/2・2017/3

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

保健・社会保障・国民連帯省

2）配属機関名（日本語）

国際財団 ランバレネ・アルベール・シュバイツアー病院

3）任地（ モワイエン・オグエ州ランバレネ市 ） JICA事務所の所在地（ リーブルビル市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バス で 約 4.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

ガボンのランバレネで地域医療活動に生涯を捧げたシュバイツアー博士の医療活動の精神を受け継ぎ、1981年に現在の病院が建設された。同病院には、総合科・救急外来科・外科・手術棟・小児科・産婦人科・母子保健科・精神科・放射線科・検査室・歯科・薬局等が設置される。2015年の受診者数は約22,500名。活動資金の殆どは、主に国際組織からの援助が基となる財団から供与される。2016年7月からは、日本の支援により、同病院併設の医療研究センターにて国際科学技術協力プログラム(SATREPS)が開始される。(シュバイツァー病院の参考ページ:http://www.schweitzerlambarene.org)

【要請概要】

1）要請理由・背景

同病院には、日本の支援として、これまで草の根・人間の安全保障無償資金協力「アルベール・シュバイツァー病院滅菌処理室機材整備計画」や、JICAボランティア(診療放射線技師JV)派遣による5S改善、患者接遇改善などが行われてきた。同病院には既に複数の診療科が設置されているが、より良い地域医療サービス提供のためには質の面での改善が必要との考えの下、この度JICAボランティアへの協力が求められた。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

臨床検査室のスタッフとの協働の下、主に以下の活動を行う。
1.検査室でスタッフの日常業務(血液検査等)をサポートするとともに、現状の把握を行う。
2.検査の効率化や精度の向上、衛生面での改善のための助言・提案を行う。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

CD4 FACS Count・顕微鏡・遠心分離機・培養器・CBC(ABX Micros60・BC2800・ACC7000・ISE3000・Bactech9050)

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:約200名(医療従事者約150名、他病院運営サポート要員。交代制。) 病院長(50代男性1名)・病院管理者(50代1名)・臨床検査室スタッフ(14名)・他診療科等に配置される医療従事者・病院運営管理に携わるスタッフ、来院する患者など

5）活動使用言語

フランス語

6）生活使用言語

フランス語

7）選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（臨床検査技師）

[学歴]：（専門学校卒）　備考：専門知識・技術が必要

[性別]：（　　）　備考：

[経験]：（実務経験）3年以上　備考：臨床検査技師としての経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候）　気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

住居は、同性JICAボランティアと同居となる可能性があります。(JVのみ)
※ガボン国への派遣については、同国の今後の治安情勢の動向を見極めながら、その都度安全確認を行った上、最終的な派遣を決定しますので、派遣の延期や中止もありうる点、ご理解の上で応募願います。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.